

国民生活センターが行ったウイルス対策用マスクの発表に関連して

2009年11月18日、独立行政法人 国民生活センターが、「ウイルス対策をうたったマスクー表示はどこまであてになるの？」という発表を行いました。その中で同センターは、「フィルターの捕集効率が表示より低いものあり」「すべての銘柄で漏れ率が40%以上」と指摘しています。15銘柄のマスクをテスト対象としての発表ですが、その中に当社製品は含まれておりません。

1. マスクの防護性能について

マスクの防護性能は、フィルターの捕集性能と顔へのフィット性能によって決定されます。ウイルス等による感染を防ぐためには、高い捕集性能のフィルターに加え、顔とマスクがフィットしていること（すき間がないこと）が重要です。

マスクのフィットは、顔との出合いで決まります。人の顔かたちは千差万別である上、頭を動かしたり会話をしたりすると、さらにすき間が開き漏れやすくなります。いくら高性能なフィルターを使用しても、すき間からウイルス等が侵入しては、感染対策としての機能が果たせません。

2. 当社のフィットへの取り組み

当社は、かねてよりマスクのフィット、漏れに着目し、フィット性を向上させる製品開発とともに、フィット、漏れに関する啓発活動を続けています。

①フィット性を向上させた製品開発

当社の感染対策用マスク（N95 レスピレーター）は、日本人の顔の大きさ・形で設計しており、当社オリジナルの独特のカーブを持った3D立体接顔クッションによって顔の形の変化にも追従しやすく（結果、すき間が開きにくい）、長さ調節の可能な頭紐も採用しています。



3D立体接顔クッション

感染対策用マスク（N95 レスピレーター）サカキ式 ハイラック 350 型
・米国 NIOSH 合格 N95 TC-84A-4342
・国家検定合格 区分 DS2 第 TM339 号

※感染対策用マスク（N95 レスピレーター）の詳細につきましては以下のサイトでご確認ください。

<http://www.koken-ltd.co.jp/kansentaisaku.htm>

②フィット・漏れの啓発活動

「マスクは漏れます」当社は、顧客に対してマスクメーカーとしては自己否定とも取られかねない啓発活動を続けています。それは、自社製マスクのフィット性の良さは認識しつつも、着用者全員がフィットさせて使うとは考えていないためです。

マスクの漏れ率を測定する機器（柴田科学製 労研式マスクフィッティングテスター MT-03/国民生活センターで測定したものと同機種）を全営業所に配備し、実際にマスクを着用する人を対象として漏れ率の測定を 3 年前から続けています。これまで実施した件数は 5 千件以上、漏れ率の測定を実際に体験した方は 6 万人を超えています。

当社の調べでは、はじめて着用する方はもちろん長年マスクを着用してきた方でも大きな漏れ率を示すことが少なくありませんでした。「マスクは漏れるもの」という前提で、フィット性の高いマスクの選定をすることに加え、普段からの装着訓練、フィットチェック、マスクの手入れ等の教育が重要と当社は考えています。



労研式マスクフィッティングテスター MT-03

今回、国民生活センターが発表した「すべての銘柄で漏れ率が 40%以上」という指摘は、当社がこれまで伝えてきたマスクは漏れるものというマスクの弱点やマスクはフィルター性能だけでなくフィット性の高いものを選ぶ必要があるということを広く認識させることになると思われます。

3. 当社の感染対策用マスク（N95 レスピレーター）について

当社の感染対策用マスク（N95 レスピレーター）は、前述したようにフィット性能を追及したことから、普通の呼吸の状態はもちろん、深呼吸、頭を上下・左右に動かす、声を出す、腰を曲げるといった動作を加えても、漏れ率はそのほとんどが 3%未満を示します。

そのフィット性の高さから、日本医師会監修の「医療従事者のための新型インフルエンザ A (H1N1) 対策実践ガイド」には、N95 レスピレーターの例として掲載されているほか、TBS「報道NEXT」（2009 年 5 月 23 日放送）、テレビ東京「トコトンハテナ」（同年 6 月 21 日放送）、日本テレビ「所さんの目がテン！」（同年 11 月 7 日放送）等の番組でもフィット性の高いマスクとして取り上げられています。

4. 今後の取り組みについて

今後も、フィット性を向上させる製品づくりとフィット・漏れの啓発活動を続けて参ります。

また、フィットに関する情報提供として、マスクの漏れ率の実測データ等は、まとまり次第改めて発表していきたいと考えています。

以上

【問い合わせ先】 興研株式会社 広報・IR室 菊池一誠
電話：03-5276-1932 FAX：03-5276-6530
E-mail：ir@koken-ltd.co.jp